HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	特殊講義案　都市と村落 III
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	資料作成年不明（システムの制約のため、発行日には没年を入力した）
Issue Date	1966
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77351
Type	manuscript
File Information	N044_01.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

NOTE BOOK

特殊講義案

都市と村落

Ⅲ

以上述べるところにより都市住民が形成して居る集団が如何なる性質のものであるかを明かにされたことと思う。

一、世帯

二、地区集団

三、職域集団及び学校及び家庭

四、生活拡充諸団体

右の諸集団の中都市住民が正常なる生活のために如何なる加入をするを必要とするか。

一、世帯は世帯及び職域集団(工場)学校は消費生活の基礎は生産生活の協力体のようなもの。他は其性質上不生産的加入のようなもの。

二、地区集団も経済的生活の上に重要なる役をなすものではない。

三、生活の上に重要なる役をなすものは

昭和三十年に博士課程満了した。

新明中の横田喜三郎教授の博士

村落における地域集団は事実上不任意加入であって甚だしく他人を制約して居る。近隣集団、氏子集団、宗教結合（等然り）、講中集団や共同親密集団の中にも此の性質がみられる。

（これを拒めば事実上村民権を失ふことになる。）

これ等の集団は村人たる以上必ず加入しその支配に服せざるをえない。都市に於ても氏族の集団は存してはゐるが他人に迫る力は強くない。氏神の祭典、葬式の構成員に殆どならない人もある。生活協同集団の構成員は自由な立場にある。

生活協同集団は多くは職域集団の内部に形成されて居る。現代的大都市は全く巨大なる職域集団を多数その内

に包括して行くが、それを職域集団は
それが巨大であるほどその内部に独
の生活様式集団を整備して行く。村落
かその生活のあらゆる領域の全
団をその内部に包含しそれに対応
ネットワークの職域集団を各種の
団をその内に育成して行く。特色
かくのごとき巨大な
職域社会は村落生活共同体とよ
と同じ様に非常に生活共同体を形成し
て行く。結合の仕方からいえば多くの職域
集団は一つの生活共同体を形成
して行く。そこに階級的対立の問題が

私たちは今、次なる高みの巨大化。マスコンバーテーション/

叫んでいる子供は、おそらく2人は今戦場を一つの集団とし移合の為になる水を発酵している。

科学の方は技術の進歩を来し巨大企業体の拡張は益々大きくなり其構成する要因も多く多くの把握を持つ為の活動も整備しなくてはならない。人は比較的な企業体の内に属し属を代って行くか奴隷化して行くか、何れかしかない。

此この後の大都市の住民がからの為の巨大な企業体の発展の支配如何によって決く支配されるようになってきた。

また都市に於ける職域集団は大企業体と
よりはかくしては、家族又は世帯が
同じく職域集団を構成している家内工
業的な零細企業、小売商店家族も
また。比較的小企業体はやがて大企業体
の傘下に統制されるか数の大企業体
がそれぞれ共同企業を形成し、かくのみ
ならず巨大
な数の共同企業を並置する事は
すべてによって政治大都市或は
その後背地の
地域に於ける一家庭成立
のためにはおかれるべきである。(これしかく
の如き地域社会は後述の政治的活動を
への通路)

＊これ等の大中の職域集団は正常市民を悉く
その他収容し並擬する（全体的）権をもたし
得ないであるが、然しこれ等の集団
相互の間又全体としての統一的組織は
どうなって居るであろうか。
何等存在するのではない。一都市職域の
全職域集団の統一的組織（乃至共同体は）をも全体の存在意義。中世
の職業組合都市の固定性は如く
多く職域集団の統一的組織の中心であった
今や都市の商工組合又は同業組合
会議所又は企業上へおける何程かの
統一組織として存るか、即ち企業者等の組織たる経営者団体の職域集団の
統一的組織をなすものではない。
職域集団は都市社会の骨格をなすもの
であり乍ら、都市の統一性を担はず

である。＊地区集団や生活協定圏は何人も居すまいとは言ひ難い、皆属するでなく
も既に述べた様な性格のものであるとすれば
それは、都市その他の統一性はどんなもの
であろうか。それは恐らく政治的
統一と云う如き形には存しないと思はれる。
今日では農村に於いても村落を構成
する第二次的地区を基礎とする地
区即ち吾人が末端行政地区と云って居
る行政的町村の政治的統一の地区がある
と同じ様に、都市は職域集団も
包括して居る政治的統一体であるとは
云へないであろうか。
これは其所の自然村を含んで居
の職合体も都市の統一性とは無関係である。

ものに至つては有してゐない。

△ もつとも市民の選んだ政治の統制の必要を
ことを述べてゐる。政治的自治体としての
都市のみが市民の自治の統制の力としての都市
である。道徳的文化的自治体としての都市
といふものは存つてゐない。然し政治
的体としては都市は道徳や文化に於て干与
するのである。故に道徳的文化的
自治体、都市は政治的自治体、並ん
両足の如くである。然し都市は道徳的文
化的自治を政治的組織を通して営んで居る
としてゐるのである。市民は道徳自ら自治の運営を
営むまでに至らず政治的代議士を通して行つて
居るとしてゐるのである。然し政治的代表を行ふ本
る会合に於ける[illegible]代議者が行ふ
市政の運営は市民の自治の組合代表に於て
ので市民の依頼に取つては市の政治的組織は市
民の自然的社会的組織とは全く別の実体である。

(十)

かくされ自体として社会的自然的組織
を強く有して居ない部分的町村として
する所のものではないのか。都市は全く政治
的団体として各々の統一性を保持
してゐるものとして[illegible]換言すれば
都市の自体は共同体ではなく、共同社会
としての職域集団の多数を包括し
て居る。政治体は道徳でない。△ 然し全体
としては政治体としての統一性は保たれて
ゐる。統一体は強いとはいへないが、個人
間の結合の網の目が比較的緩慢には
結び付いて累積して居るとは考へ
られる。都市に於ける[illegible]統一は政治的となるものである
関係や意味や[illegible]

（大企業体の幹部が市会を牛耳って居る体
サッポロの外口のボス的市政。）

⑩ 都市政治体は市民と甚だしく多くの事業を
営んで居るか、市民は之れを自ら行って居る
訳業としては寧ろ全く自分より隔離された或る官
僚的な一階層が行って居ると考へる。市の政治
組自体と他との市民とは甚だしく遠い距離
をもって居る。

（サッポロ市の市政を運営して居る市議会について考へ
つまり、全市人口四万一千四十五人、八千五百十九世帯の中
サッポロ総納税者四千四十七人
三十人の議員の中
十二人以上を富裕層が占めて居るのは
現在では一人、農業人八四人、九〇六世帯
であって農業者の議員は一人、その一人も農業者
の為の代理者かどうか分らない。この場合九〇六
戸の農家の人々が政治体としての市の政治と
どんな距離を感じて居るか想像にかたくない）

（札幌市は土地建物地主階級の財産をもって居る。それ

廿

自然的地域的統一と
られるから、都市も無限に膨張と
云ふ進むのではある。
然しこれ等の事実を明確にする為には
都市へ移住した（近代国家、政群、集団、隣保社会、圏）
に就いて 三十八
考察しなければ
ならぬ。

又

は市民一人当り約五千円である。五人家族の一家族では約略一万五千円の財産を所有して居る訳である。その一万五千円は果して何を為すべきか。既に述べた如く、この都市は市民一人々々の生活の内に於けるのではなく外に在るのであるが、無言の財産は寧ろ遊んで居る一家に対して何の力にもならぬ存在（政治機構としての市は市民が構成して居るのではないか。）

（それには都市の自治に於ける政党や市民の団体のかくれたる力を発揮して見る。夫等の議論となることである。市議会は集会する都市政治機関と同様に「見るべき議員」は政治的な[illegible]の行動に於て、あることを述べて居る。（附記））

（政党や市民の組合に巨大な企業体を構成して、市の財閥も無理なる法規として大きな力を持つものと考へられるか。）